

17日現在で6710万円に達しました。

(4) ICM 関連シンポジウムは現在 25 計画されており、そのうち 24 の計画の英文概要がまとめられ、第 2 次サーキュラー(Second Annoucement)の配布時に添付されます。

なお第 2 次サーキュラーは、第 1 次サーキュラーにあ

る申込用紙で申し込まれた方、及び ICM 90 日本数学会特別募金にご寄付された方に送付されます。

ICM 90 幹事会

(5) ICM 90 関連シンポジウム

11月17日現在の追加分は下記の通りです(\*印は日時変更)。

開催予定日	会議名 主題 等	開催場所	参加予定数 国外+国内	連絡先 世話係 等
8/21—29 ICM 90 国立京都国際会館 約 3500				
8/22—24	1990 Symbolic and Algebraic Computation	東京 日大講堂	100+100	小林英恒(日大) 佐々木建昭(理化研)
8/30—9/4*	Computational Mathematics	松山市 全日空ホテル	30+50 closed	山本哲朗(愛媛大)

溝畑 茂 ICM 90 学術委員会委員長(大阪電通大)

#### シンポジウム・研究集会の一覧表について

最近は、数学関係のシンポジウムや研究集会が数多く開催されるようになり、いつ、どこで、どんな研究集会が開催されたのかを知るのが難しくなりました。そこで、数学会がシンポジウム・研究集会の年度ごとの一覧表を作り、'数学'に掲載しています。各集会に関する最小限の情報を集めて会員に供覧することが目的です。

年度毎に開催された関係のシンポジウムや研究集会に関する情報を支部・分科会連絡責任評議員、科学研究費総合(A)代表者のもとで取纏めて頂き、所定の用紙に記入の上、数学会宛に、5月末日までに送って頂くようになっております。

該当するシンポジウム・研究集会は、原則として 20 人以上の集会、または、(20 人以下でも)報告集のある集会に限りです。

該当するシンポジウム・研究集会を開催された方は、上記関係者にご連絡下さいませようお願い致します。

一覧表は'数学'4号に掲載する予定です。

#### 雑誌'数学'のバックナンバーについて

41 巻 3 号でお知らせいたしました'数学'バックナンバーの処分につきましては 1989 年 11 月 30 日をもって締切らせていただきました。御通知申し上げましたとおり、残部については全て廃棄いたします。

数学会会員および読者の皆様の御協力に感謝いたします。  
日本数学会出版委員会

#### 欧文誌'ジャーナル'のバックナンバーについて

雑誌'数学'のバックナンバーの処分にひきつづいて、このたび欧文誌'ジャーナル'の在庫処分をすることにいたしました。バックナンバーはこれまで日本数学会で保存してまいりましたが、遂に保管能力の限界に達しました。処分の対象とするのは、日本数学会で永久保存する分とは別のストックで、創刊号以後のすべてが完備して

いるわけではありません。欠号が少なからずありますので、その点御了承下さい。

(1) 第 1 巻 1 号から第 30 巻 4 号(1978 年 10 月発行)までの雑誌を対象とします。

(2) バックナンバー御希望の方は、必ず葉書で、第 m 巻 n 号と、希望される雑誌の番号を一覧表にして申し込み下さい。電話による申し込みは御遠慮下さい。なおこの件に関する問い合わせも書面にてお願いいたします。

(3) 事務局から郵送する雑誌の宛先を明記して下さい。

(4) 御申し込みのあった雑誌は、在庫のあるものについては先着順にお送りいたします。なお、御申し込みいただいてから発送までは 3 ヶ月程かかることを御了承下さい。

(5) 1 冊あたりの価格は一律 1000 円といたします。また郵送料は実費を負担していただきます。雑誌発送時に振込用紙を同封いたします。

(6) 申し込みの締切日は 1990 年 5 月 31 日といたします。

(7) 1990 年 6 月 1 日以降に、残部は全て廃棄いたします。  
日本数学会出版委員会

#### 国際会議案内

ISSAC-90(国際数式記号処理学会)

1. 平成 2 年 8 月 20 日(月)~24 日(金)
2. 日本大学 9 号館(東京・神田)
3. 共催: ACM-SIGSAM, 情報処理学会,  
ソフトウェア科学会

連絡先: 〒101 東京都千代田区駿河台 3-2 山崎ビル  
サイエンティスト社内  
国際会議(IJC-2)事務局  
TEL (03)253-8992 FAX (03)255-6847

4. 論文締切: 平成 2 年 2 月 15 日(木)  
AAECC-8 と同時開催(Second International Con-

---

 学 界 ニ ュ ー ス
 

---

## おしらせ

## ICM 90 について

## (1) 準備状況

ICM 90 記念切手を発行するための準備をし、運動をすすめております。第2次サーキュラーの作成が完了し、1989年12月中には配布されます。また、ICM 90 関連シンポジウムを含め外国人参加者についての入国手続きの準備をすすめております。



ICM 90 の参加登録費は正参加者3万円(5月16日以降は4万円)、同伴参加者1万円です。第2次サーキュラー17頁にある要項に従って振り込んでください。

(2) ICM 90 日本数学会特別募金に関して、数学会の会報に同封して中間報告と小平会長の数学会会員あての文書ができましたので、(会計報告は11月22日の分に変更して)再録します。

ICM 90 日本数学会特別募金の現状とお願い

ICM 90 数学会特別募金は早くも目標額に到達致しました。これもひとえに会員皆様の並々ならぬ御好意によるものと深く感謝し厚くお礼申しあげます。大蔵省より免税の枠を頂いております指定寄付金につきましてはその総額も使途も制限されておりました、ICM の慣例上必要な経費でも指定寄付金で賄うことが許されないものがあり、また10万円以上寄付された方の参加登録費免除に関連する下記のような事情もありまして、今後も募金を継続させて頂きたく存じます。諸般の事情を御賢察の上、引き続き御寄付を賜りたく、格別の御配慮御支援をお願い申し上げる次第でございます。

平成元年10月20日

第11回国際数学連合総会及び第21回国際数学会議  
組織委員会委員長 小平邦彦

ICM 90 数学会特別募金 89/11/22 現在

(募金目標は3千万円以上ですが、便宜上3千万円として計算)

入金総計 = ¥32,243,000

予約 平均口数(一人あたり) = 8

寄付 平均口数(一人あたり) = 7

寄付者人数 = 911 予約者人数 = 911

寄付平均額 = ¥35,393 標準偏差 = ¥64,371

予約総計 = ¥34,342,500

予約達成率(=予約総額/3千万円)111.47%

達成率(=入金総額/予約総額)93.89%

目標到達率(=入金総額/3千万円)107.48%

87/09/01 から 89/11/22迄

入金額の分布

0口<	1口未満は	5数
1口以上	2口未満は	49数
2口以上	3口未満は	385数
3口以上	4口未満は	34数
4口以上	5口未満は	120数
5口以上	6口未満は	10数
6口以上	7口未満は	91数
7口以上	8口未満は	5数
8口以上	9口未満は	19数
9口以上	10口未満は	1数
10口以上	11口未満は	47数
12口以上	13口未満は	6数
14口以上	15口未満は	1数
15口以上	16口未満は	3数
16口以上	17口未満は	1数
17口以上	18口未満は	0数
20口以上	21口未満は	110数
24口以上	25口未満は	1数
26口以上	27口未満は	1数
30口以上	31口未満は	5数
32口以上	33口未満は	0数
33口以上	34口未満は	1数
40口以上	41口未満は	7数
50口以上	51口未満は	2数
60口以上	61口未満は	1数
80口以上	81口未満は	1数
100口以上	101口未満は	3数
160口以上	161口未満は	1数
220口以上	221口未満は	1数

募金計画に従い10万円以上ご寄付された方のICM 90参加登録費を免除いたします。予約で10万円越えている方も含めると149名の方の登録費総計149×3万円=447万円を負担することになります。会計処理の上からは、本特別募金で集められた中から参加登録費へ振り替えることになり、実際上は3447万円のご寄付が集まらないと募金計画の目標が達成されません。

このようなわけで、募金目標が達成された後でも、1990年8月までは募金を継続いたしたく思います。同封の郵便振替の用紙を利用してご寄付いただければまことに幸いです。

ICM 90 募金実務担当者

飯高 茂

(3) 企業法人関係への指定寄付及び、一般寄付、財団法人数理科学会のICM 90 育成事業への寄付は11月